



外壁やインテリアのイメージづくりにも大切な「窓」特集

窓は家づくりの重要なポイントとなります。外観やインテリアのデザインの美しさもありますが、通風・採光・防犯等の様々な要素をもっています。今回は簡単に窓の種類と特長を説明します。家づくり、インテリアの参考にしてください。



いろいろな窓の種類と特長

● 引き違い窓 (ひきがいで)

最も一般的な窓です。2枚の窓を左右に引いて開閉します。左右どちらにも開き、また左右同時に開く事も可能で換気に適した窓です。

● 外開き・内開き窓 (そとびらき・うちびらき)

外開き窓は外側に押して開き、内開き窓は内側に引いて開きます。欧米では内開き窓が多く使用されていますが、使い方によって選択します。

● 両開き窓 (りょうびらき)

左右に開く2枚の窓で、洋風の住まいに使われる事の多いタイプです。外国の映画等で窓を開けるシーンで見た事も多いと思います。機能性としては、両側に大きく開く事で通風や採光に優れています。

● 出窓 (でまど)

外壁から外へ出ている窓を出窓と呼びます。窓が外へ出ている分、室内は広く感じ、また出窓の部分をカウンターや飾り棚に使用できるというメリットがあります。ただし、外に出ている分、冬場の寒さ対策や夏場の遮熱対策等の注意も必要です。

● 掃き出し窓 (はきだし)

掃き出し窓とは床と同じ高さで、文字通りほうきで掃いたゴミを外に掃き出すための窓として使用されていました。掃除機等を使う現在では、バルコニーやウッドデッキ、庭に出るための扉として使われています。

● 腰高窓 (こしだか)

掃き出し窓と違い高さが人の腰の位置あたりにくる窓です。ソファや家具を置くのにちょうどいい高さになります。光を取り入れる事も出来ますし、換気の役割もはたします。

● 折りたたみ窓 (おりたたみ)

複数枚の大型窓(ガラス戸)を折りたたんで大きな開口部を生み出します。リビングに使用すると、大きな開口部が開放感を演出します。オシャレなカフェやレストラン等に採用されている場合が多いようです。

● 回転窓 (かいてん)

中央に軸を設け水平または垂直に回転する窓です。北欧の住宅に使用されている場合が多く、イメージとしては鉄道や船舶の運転席に設けられる窓で、広い視界を確保する事が出来ます。

● オーニング窓 (オーニング)

細長いガラス板を水平に重ね開口部を調整することができる窓です。ハンドル操作で開閉するので、開口部の細かい調整が可能で便利な窓です。複雑な構造のため若干コストが高くなります。

● 上げ下げ窓 (あげさげ)

上下に2枚のガラスを付け、上げ下げして使います。日本ではあまり使われませんが欧米では一般的な窓です。開口部は最大でも窓枠の2分の1になります。

● はめ殺し窓 (はめころし)

開け閉めのできない窓です。1枚ガラスのため換気はできません。機能性としては採光のための窓ということになります。

● スリット窓 (スリット)

もともと細長いスペースを有効活用して、採光のために設けられた窓です。縦に細長いため外からは見えづらくプライバシーも確保できます。最近はデザイン優先で設けられる場合も多くなります。

たくさん種類があって迷っちゃう!!



山陽新聞 住宅展示場

経験豊富な
ハウスメーカーに
相談しよう!